

平成 20 年度中心市街地商業活性化診断事業  
現地実態調査報告書  
【三重県 四日市市】

概要版

平成 21 年 1 月  
株式会社サーベイリサーチセンター

# 平成 20 年度中心市街地商業活性化診断事業 現地実態調査報告書

## 【 目 次 】

<b>調査の設計</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査の構成 .....	1
3 調査項目 .....	1
4 調査の概要 .....	2
<b>調査の結果</b> .....	<b>4</b>
1 地域分析 .....	4
( 1 ) 四日市市の概要 .....	4
( 2 ) 人口構成 .....	4
( 3 ) 商業 .....	5
( 4 ) 中心商業の状況 .....	7
2 市民調査 .....	8
回答者の属性 .....	8
諏訪栄地域の利用について .....	8
日常の買い物について .....	8
3 来街者調査 .....	9
回答者の属性 .....	9
諏訪栄地域の利用について .....	9
4 高校生調査 .....	11
回答者の属性 .....	11
諏訪栄地域の利用について .....	11
日常の買い物について .....	11
<b>調査結果の考察</b> .....	<b>12</b>
( 1 ) 地域分析 .....	12
( 2 ) 市民調査 .....	12
( 3 ) 来街者調査 .....	14
( 4 ) 高校生調査 .....	15

## . 調査の設計

### 1 調査の目的

本現地実態調査は、四日市市の現状を把握するとともに、住民のニーズや今後の要望を把握し、現在の中心商業地域における活性化のための基礎資料を収集するために、実施する。

### 2 調査の構成

地域分析：四日市市の現状を統計データより分析

市民調査：市民 2,000 人を対象に、中心商業地域に対する評価や要望、現状の買い物状況等を把握

来街者調査：中心商業地域への来街者 500 人を対象に、中心商業地域に対する評価や要望、現状の買い物状況等を把握

高校生調査：市内の商業高校に通学する生徒を対象に、中心商業地域に対する評価や要望、現状の買い物状況等を把握

### 3 調査項目

	諏訪栄地域の利用実態について	諏訪栄地域の交通の利便性について	日常の買い物について	居住環境について
項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の利用頻度</li><li>・利用目的</li><li>・利用交通手段</li><li>・利用理由</li><li>・地域への評価</li><li>・非利用理由</li><li>・神社の利用頻度</li><li>・神社の利用目的</li><li>・神社への評価</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・駐車場の利用実態</li><li>・くすの木 P の認知</li><li>・くすの木 P の利用</li><li>・交通施設への評価</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・品目別の買い物先</li><li>・品目別の買い物先を選ぶ理由</li><li>・理想とする街、行きたくない街</li><li>・具体的な店や生きなくなる店</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在の居住の形態</li><li>・居住年数</li><li>・居住環境への評価</li><li>・住みやすさ</li><li>・住み替え意向</li><li>・住み替え先の条件</li></ul>
市民調査				
来街者調査		-	-	-
高校生調査				-

#### 4 調査の概要

##### (1) 調査目的

諏訪栄地域の利用実態やニーズ等を把握し、今後の活性化の基礎資料とする。

##### (2) 調査対象

###### 来街者調査

- ・ 諏訪栄地域周辺への来街者

###### 市民調査

- ・ 四日市市在住の18歳以上の市民

###### 高校生調査

- ・ 四日市商業高校の学生

##### (3) 調査方法

来街者調査-来街者への直接面接聴取法

市民調査-抽出した対象者への郵送配布・郵送回収法

高校生調査-学校より配布・回収の留め置き法

##### (4) 調査日

###### 来街者調査

- ・ 11月21日(金)、11月22日(土) 10:00-18:00

###### 市民調査

- ・ 11月18日発送、12月8日締切

###### 高校生調査

- ・ 11月末学校配布・12月8日締切

##### (5) 調査数

来街者調査-500件(1地点100件)

市民調査-2,000件(市民を抽出)

高校生調査-92件

##### (6) 回収率 の調査のみ

発送数：2,000件 回収数：658件 回収率：32.9%

(7) 調査地点 の調査のみ

地点1：ララスクエア周辺、地点2：ふれあいモール

地点3：スーパーサンシ前、地点4：諏訪神社周辺

地点5：中央通りバス停周辺



## ・調査の結果

### 1 地域分析

#### (1) 四日市市の概要

##### 四日市市の沿革

四日市市は、豊かな視線や地理的条件に非常に恵まれており、気候も温暖で暮らしやすい地域となっていることから、三重県下最大の人口を擁し、近鉄名古屋線などが通ることから名古屋市への通勤・通学者が多く、郊外の団地は名古屋のベッドタウン化している。

##### 四日市市の位置

四日市市は名古屋大都市圏の中に位置し、名古屋市からは約 40 km の距離で、鉄道で 30 分ほどの位置にある。また、関西方面からも鉄道や自動車でもアクセスできる圏内にある。

##### 鉄道・道路

名古屋大都市圏から大阪方面や津・伊勢方面へ向かう主要交通網が南北に伸びており、市の中心駅として近鉄四日市駅を有し、近畿日本鉄道名古屋線、湯ノ山線、内部線、八王子線など様々な路線がある。

#### (2) 人口構成

##### 総人口の推移

平成 17 年の国勢調査結果をみると、総人口は、303,845 人となっている。平成 12 年と比べ 12,740 人の増加しており、4.38% の増加がみられる。

##### 人口構成

平成 17 年の国勢調査結果をみると、高齢者（満 65 歳以上）の人口は、平成 17 年で 56,609 人となっており、高齢化率は 18.6% となっている。これは全国平均の 20.1% と比べて低めの値であり、この地域の人口構成は比較的若いということがいえる。

##### 高齢化率

平成 17 年の国勢調査結果をみると、平成 12 年から高齢化率が 2.7 ポイント上昇して

おり、平成 12 年からの伸び率をみると、22.47%の伸びを示していることから、高齢化が加速していると思われる。

人口構成（平成12年・平成17年国勢調査 四日市市分）

		平成 12 年	平成 17 年	増減	増減率
人口総数		291,105 人	303,845 人	+12,740 人	4.38%
人口（男）		143,435 人	149,692 人	+6,257 人	4.36%
人口（女）		147,670 人	154,153 人	+6,483 人	4.39%
年 齢 区 分	15 歳未満人口	45,730 人	46,099 人	+369 人	0.81%
	15～64 歳人口	198,760 人	200,024 人	+1,264 人	0.64%
	65 歳以上人口	46,224 人	56,609 人	+10,385 人	22.47%
年 齢 区 分 割 合	15 歳未満人口割合	15.7%	15.2%	+0.5%	-
	15～64 歳人口割合	68.3%	65.8%	-3.5%	-
	65 歳以上人口割合	15.9%	18.6%	+2.7%	-

### （3）商業

#### 商店数の推移

平成 3 年から商業統計調査の結果により推移を見ると、平成 3 年で 3,675 店あった店舗数は、平成 16 年で 2,654 店と、14 年間で約 1,000 店減少している。

#### 従業員数の推移

従業員数は、平成 3 年の 16,270 人から比較すると、約 2,200 人（14%）の増加が見られる。

#### 年間商品販売額

年間商品販売額については、平成 11 年までほぼ横ばいとなり、平成 14 年でやや減少している。

#### 商店一店舗当りの売場面積

商店一店舗当りの売場面積は、平成 3 年では、89.63 m<sup>2</sup>だったのに対し、平成 16 年では、150.59 m<sup>2</sup>と一店舗当りの売場面積は、増加している。

#### 従業員一人当りの年間商品販売額

従業員一人当りの年間商品販売額は、平成 3 年の 23,837 千円から 18,018 千円と減少している。

## 売場面積 1 m<sup>2</sup>当りの年間商品販売額

売場面積 1 m<sup>2</sup>当りの年間商品販売額も平成 3 年から約 300 千円減少しており、従業員数と、売場面積は増加傾向にあるが、売り上げ自体は減少傾向にある。

### 小売業の推移（商業統計調査）

		平成 3 年	平成 9 年	平成 16 年
商店数（市全体）		3,675	3,257	2,654
	指数	1.00	0.89	0.72
従業者数（市全体）		16,270	18,263	18,586
	指数	1.00	1.12	1.14
年間商品販売額（市全体）	（千円）	387,831,120	383,069,290	334,884,000
	指数	1.00	0.99	0.86
売場面積	（m <sup>2</sup> ）	329,394	381,307	399,675
	指数	1.00	1.16	1.21
一店舗当りの売場面積	（m <sup>2</sup> ）	89.63	117.07	150.59
	指数	1.00	1.31	1.68
年間商品販売額（従業員 1 人当たり）	（千円）	23,837	20,975	18,018
	指数	1.00	0.88	0.76
年間商品販売額（売場面積 1 m <sup>2</sup> 当たり）	（千円）	1,177	1,005	838
	指数	1.00	0.85	0.71

### 四日市市と周辺の商圈

四日市市を中心都市とする商圈の範囲と商圈内人口は非常に多く、県内でもトップとなっているが、大きな商圈規模の変動はない。

四日市市の買物傾向の推移を見ると、地元購買率は、徐々に減少しているが、平成 13 年データで 90%を超えており、地元購買率は、非常に高い結果と思われる。

また、商圈内購買率は、昭和 61 年で 49.8%と約半数だったが、平成 13 年では 48.3%と 1.5 ポイントの減少だが、まだまだ高い傾向にある。

商圈内人口は年々増加しているため、買物率は減少しても、買物人口は増加している。

### 四日市商圈の推移と四日市市の買物傾向の推移

年次	四日市市 地元購買率 (%)	商圈内買物率 (A) (%)	商圈内人口 (B)	買物人口 (A×B)	買物人口 対前年比(%)
昭和 61 年	95.6	49.8	615,291	306,751	100.00
平成 7 年	91.2	48.0	663,960	318,410	101.39
平成 13 年	90.2	48.3	696,283	336,027	102.18

1 商圈内買物率 (A) ... 第 1 次商圈から第 4 次商圈までの地域の住民の四日市市での購買率。

資料：三重県買物傾向（商圈）調査

## 消費状況

三重県の市町別の年間消費支出総額を推計算出した結果を元に、三重県及び、四日市市と周辺市の消費傾向を見ると、消費支出総額は、三重県でトップとなっている。

### 市民一人当たりの消費支出額

平成 17 年国勢調査結果と本推計値を使い、市民一人当たりの消費支出額を算出したところ、四日市市は、県全体を上回るものの、津市よりは低くなっている。

人口 1 人当たりの消費推計・15 歳人口 1 人当たりの消費推計

自治体名	消費支出総額	総人口	総人口 1 人当たり消費推計
	(千円) (A)	(人) (B)	(千円/人) (A/B)
三重県	2,203,339,889	1,866,963	1,180.17
津市	367,498,305	165,182	2,224.81
四日市市	404,847,954	303,845	1,332.42
松阪市	185,608,065	168,973	1,098.45
桑名市	189,112,832	138,963	1,360.89
鈴鹿市	250,217,072	193,114	1,295.70

## (4) 中心商業の状況

### 中心商業の現状

平成 16 年に経済産業省が実施した商業統計調査結果より、四日市市の中心商業の状況を見ると、小売業における事業所数は 202 店。従業員数は、1,424 人。年間商品販売額は、4,059,600 百万円となっている。売り場面積は、48,122 m<sup>2</sup>となっている。

### 年間商品販売額の推移

従業員一人当たりの年間商品販売額は、2,850 百万円、売り場面積 1 m<sup>2</sup>当たりの年間商品販売額は、843 千円と市全体と比べても高くなっている。

四日市市及び中心商業地における商業統計 (平成 16 年 商業統計調査 経済産業省)

	事業所数	従業員数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	売場面積 (m <sup>2</sup> )	従業員 一人当たりの 年間商品販売額	売り場面積 1 m <sup>2</sup> 当たりの 年間商品販売額
市全体	837	6,714	126,821	176,783	1,890 万円	717,000 円
中心商業	202	1,424	40,596	48,122	2,850 万円	843,000 円

### 近鉄四日市駅周辺の通行状況

平成 10 年から四日市市で実施している歩行者流量調査結果をみると、平日の近鉄四日市駅付近では、平日、休日ともに、ララスクエアの休業後、開業後で通行量に大きな変化が見られた。

## 2 市民調査

### 回答者の属性

- ・回答者の性別は、男性が34.2%、女性が64.0%と女性がやや多くなっている。
- ・回答者の年齢構成は、40代が20.7%と最も多く、最も少ないのは18～19歳で、1.7%となっている。
- ・回答者の職業構成は、会社員が35.6%と最も多く、次いで主婦で29.0%となっている。
- ・回答者の家族構成は、夫婦と子どもの世帯が43.5%と約半数を占めている。

### 諏訪栄地域の利用について

- ・諏訪栄地域への来街頻度について聞いたところ、“ほとんど行かない”が4割を占めており、最も多くなっている。2.5人中1人は、行かない人がいる。
- ・諏訪栄地域へ出かけた目的について聞いたところ、“買い物”が66.2%と最も多く、次いで、“飲食・喫茶・飲酒”が46.5%、“所用”が21.1%と続いている。“特に目的はない（ウィンドウショッピング）”は10.5%と低くなっている。
- ・諏訪栄地域を利用した理由を聞いたところ、“他の用事のついでだから”が最も多く、次いで“家や職場から近いから”と続いている。
- ・来街頻度が低い人に、諏訪栄地域に行かなかった理由を聞いたところ、“駐車場が有料だから”が最も多く、次いで“家や職場から遠いから”、“魅力的な店がないから”と続いている。
- ・諏訪公園・神社にあったらいいなと思うものについて聞いたところ、“四季の花やみどりの楽しめる花壇”が最も多く、次いで“花屋や喫茶店などのおしゃれな店”、“音楽などの文化イベント”、“子どもの遊び場”、“朝市”、などが続いている。

### 日常の買い物について

- ・普段の買い物について、品目別に買い物する場所について聞いたところ、ほとんどの商品で“諏訪栄地域を除く市内”や“四日市市外”が多くなっている。
- ・普段の買い物について、商品ごとに買い物する場所を利用する理由は、“食料品”、“日用家庭品”、“衣料品（普段着用）”、“医薬・化粧品”、“家電製品”は、【近さや安さ】が大きな要因となっている。
- “衣料品（おでかけ用）や”靴・バッグ・アクセサリー“、“贈答品”は【品質や品揃え】”

家具・インテリア“、”スポーツ・レジャー用品“は【安さと品揃え】とそれぞれの品物によって理由が異なっていることがうかがえる。

・理想としている、足を運びたくなる、近くにあると行きたくなる街について聞いたところ、“駐車場が充実しており車で簡単にいける”が最も多く、次いで“おいしい飲食店や快適なカフェが多い”、“一度に行けば色々な種類のお店にいける”、“価格の安い店が多い”などがあげられている。

・具体的な店については、駐車場の無料サービスがある店や、子どもに配慮されている店、店員の対応が良い店、商品知識を豊富に持っている店員がいる店、品揃えの豊富な店、おしゃれなカフェなどがあげられている。

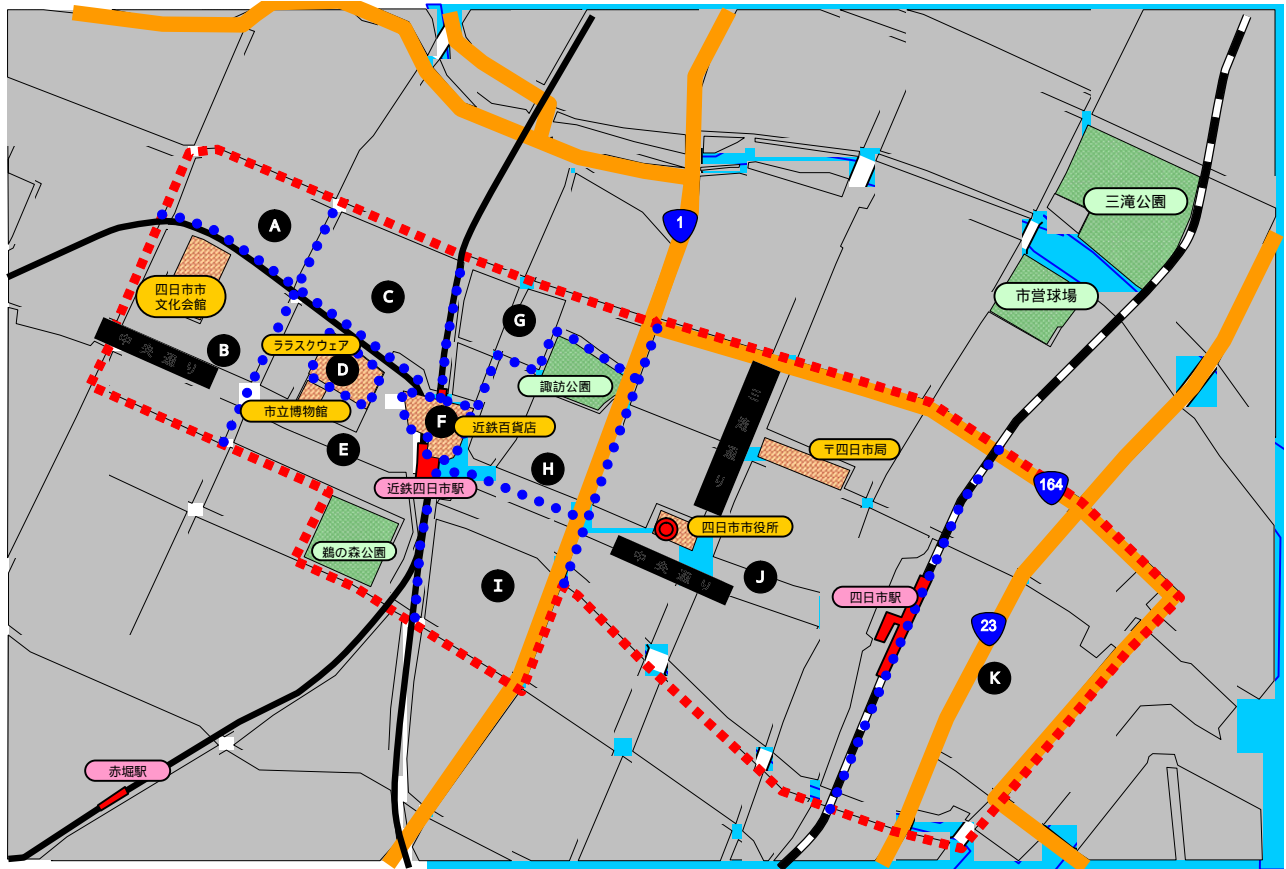
### 3 来街者調査

#### 回答者の属性

- ・回答者の性別は、男性 40.7%、女性が 59.3%となっている。
- ・回答者の年齢構成は、どの年代も 1 割以上となっている。
- ・回答者の職業は、主婦が 34.1%と最も多く、次いで会社員で 29.8%となっている。
- ・回答者の家族構成は、夫婦と子どもが 41.3%と最も多く、次いで夫婦のみが 25.9%となっている。

#### 諏訪栄地域の利用について

- ・諏訪栄地域への来街頻度について聞いたところ、“ほとんど毎日”が最も多くなっている。3人中2人は、週1回以上来街しており、来街頻度が高い人が多いことがうかがえる。
- ・諏訪栄地域へ出かけた目的について聞いたところ、“買い物”が 67.5%と最も多く、次いで、“飲食・喫茶・飲酒”が 27.4%、“所用”が 14.3%と続いている。
- ・諏訪栄地域を利用した理由について聞いたところ、“家や職場から近いから”が最も多く、次いで、“買い物が一度ですむから”、“他の用事のついでだから”と続いている。
- ・諏訪栄地域を買った商品・利用したサービスについて聞いたところ、“生鮮食品”が最も多く、次いで、“喫茶・飲食”、“衣類”と続いている。
- ・中心市街地へ入った場所は、“地点E”が最も多く、次いで“地点D”が多くなっている。
- ・調査地点からこれから行く場所は、“その他（中心市街地以外の場所）”が最も多く、次いで、“地点D”、“地点F”と続いている。



- ・諏訪栄地域にあったらいいと思う業態について聞いたところ、“服飾・生活雑貨”が最も多く、次いで“喫茶・軽食・レストラン”、“文化・レジャー関連”、“衣料品”と続いている。
- ・具体的なお店について聞いたところ、ユニクロが最も多く、次いでジャスコ、イオン、東急ハンズと続いている。
- ・諏訪公園・神社にあったらいいなと思うものは、“お祭り”が最も多く、次いで“フリーマーケット”、“四季の花やみどりの楽しめる花壇”、“朝市”などが続いている。

## 4 高校生調査

### 回答者の属性

- ・回答者の性別は、女性が91.3%、男性が3.3%となっている。

### 諏訪栄地域の利用について

- ・諏訪栄地域への来街頻度について聞いたところ、“ほとんど行かない”が4割を占めており、最も多くなっている。2.5人中1人は、行かない人がいる。
- ・出かけた目的について聞いたところ、“ゲーム・アミューズメント”が37.3%と最も多く、次いで、“買い物”が多くなっている。
- ・諏訪栄地域を利用した理由について聞いたところ、“他の用事のついでだから”が最も多く、次いで“家や職場から近いから”、“魅力的な店があるから”と続いている。
- ・諏訪栄地域を買った商品・利用したサービスについて聞いたところ、“喫茶・飲食”が最も多く、次いで“薬・化粧品”、“生鮮食品”と続いている。
- ・諏訪栄地域に行かなかった理由について聞いたところ、“家や学校から遠いから”が最も多く、次いで“魅力的な店がないから”と続いている。
- ・諏訪公園・神社にあったらいいなと思うものについて聞いたところ、“お祭り”が最も多く、次いで“音楽などの文化イベント”、“花屋や喫茶店などのおしゃれな店”などが続いている。

### 日常の買い物について

- ・普段の買い物で、商品ごとに買い物する場所について聞いたところ、ほとんどの商品で“諏訪栄地域を除く市内”や“四日市市外”が多くなっている。また、それ以外では、“ラスクエア”での買い物が多くなっている。
- ・普段の買い物で、商品ごとに買い物する場所を利用する理由について聞いたところ、“衣料品（おでかけ用）や”靴・バッグ・アクセサリ“、“贈答品”は、【近さと魅力】が大きな要因となっており。それ以外の品物については、【近さと安さ】が大きな要因となっている。
- ・理想としている、足を運びたくなる、近くにあると行きたくなる街について聞いたところ、“価格の安い店が多い”、“おいしい飲食店や快適なカフェが多い”が最も多く、次い

で、“全国的に有名なブランド店やチェーン店が多い”などがあげられている。  
・具体的なお店を聞いたところ、安くて品揃えの多い店が最も多くなっている。

## ・調査結果の考察

### (1) 地域分析

・“高齢者への配慮”と“昼間人口の取り込み”。

人口は徐々に増加しているが、1世帯の平均世帯人員数は、平成2年の3.09から、2.50まで減少している。また、高齢化率も年々上昇しており、核家族化と高齢化は、今後も増加していくことがうかがえる。

昼夜間人口比率は103.5と夜間人口よりも昼間人口が多くなっており、商業地やオフィス、学校などの集積率が高く、多様な都市機能の集積がある都市としての特徴が見えてくる。

### (2) 市民調査

#### 諏訪栄地域の利用について

#### 1) 諏訪栄地域の来街者

・“街全体の総合的な魅力度アップ”による住民の取り込み。

諏訪栄地域への評価は、犯罪が少なく治安が良くて、安全に暮らせるまちという評価が高く、それ以外の、買い物への満足感や歩いて楽しいまちかどうか、美しい景観のまちか、清潔なまちか、車を利用しやすいかなど、11項目については、そう思わないという評価が多く、マイナスの評価項目が多い結果となった。

#### 2) 諏訪栄地域の非来街者

・“駐車場無料以上の魅力ある店や街づくり”による住民の取り込み。

・“チラシ等”による諏訪栄地域における買い物などの情報周知。

非来街者は、諏訪栄地域で買い物をしない理由について、第一位に駐車場が有料だから、第二位に家や職場から遠いから、第三位に魅力的な店がないからをあげている。それ以外にも駐車場が近くにないからや、チラシ等で情報が入らないからなどの理由をあげている。

### 3) 諏訪公園・諏訪神社について

- ・清潔感と安全性のある公園・神社を望んでいる。
- ・憩いの場の機能と催事場の機能の両面を持った場所として活用。

施設に対する評価は、公園のきれいさや安全性など 12 項目中 8 項目は、現状に対して不満を持っている人が多い。現状に対して必要性の高い項目としては、きれいさや安全性など、現在不満を持っている内容に対して充実してほしいとの要望が多い。

諏訪公園・諏訪神社にあったらいいなと思うものは、花やみどりが楽しめる花壇やおしゃれなお店、お祭りや朝市、フリーマーケットなど、憩いの場としての機能と催事場としての機能の両面を望んでいる声が多い。

#### 普段の買い物について

- ・食料品や日用家庭用品などの最寄品は、“近さ”から選んでいる人が多い。
- ・駐車場が無料で、商品が安くて、品揃えが豊富な店が理想。

諏訪栄地域に限らず、どこで普段買い物するかを聞いたところ、どの品目でも郊外店で購入している人が多いことがうかがえる。

最もよく利用する買い物先を選ぶ理由は、“近さ”と“品質のよさ”、“買い物が一度で済む”、“価格の安さ”、“品揃えの豊富さ”、“チラシでの情報入手が可能”、“駐車場が近い”など多岐に渡った理由をあげている。

理想とするお店はどんな店か聞いたところ、駐車場の無料等に関する意見が最も多くあげられている。

#### 諏訪栄地域の交通の利便性について

- ・くすの木パーキングは、料金の見直し、導線の案内表示の改善など不満度が高く、必要度が高い項目を改善すべき

くすの木パーキングの認知度は高いものの、利用経験率が認知度ほど高くないため、何らかの理由で知っているが利用していない人も多数いる。

くすの木パーキングに対する評価は、駐車台数の多さ以外の出入り口のわかりやすさ、場内の案内のわかりやすさ料金、明るさなど、不満の評価を受けており、重要度については、現在不満を持っている内容に対して重要であるとの回答が多い。

## 居住環境について

- ・住みやすく定住意向が高い人が多く、住み替え意向は低い。

長期間の居住者が多く、約 8 割の人が住みやすい地域と感じている。

現在の居住環境については、静かさや日当たり、風通し、自然の豊かさ、水害からの安全性、路上駐車のかなさ、普段の買い物の便利さなど満足の評価項目が多く、定住意向の高い。また、住み替え意向は低くなっている。

## (3) 来街者調査

### 1) 諏訪栄地域の来街者

- ・“近さ”から来街している人が多い。

徒歩・自転車など比較的近所の徒歩圏からの来街が多く、日常的な最寄り品を購入する人が来街していることが予想される。

諏訪栄地域を利用する理由は、近くて買い物が一度ですむから、他の用事のついでだからという理由が多くなっている。

諏訪栄地域に欲しい店舗は、服飾・生活雑貨や喫茶・軽食・レストラン、文化・レジャー関連、衣料品など多分野の業態の要望が高い。

### 2) 諏訪公園・諏訪神社について

- ・憩いの場の機能と催事場の機能の両面を持った場所として活用。

諏訪公園・諏訪神社の利用者は、頻度も低く、滞在時間も短めだが、夫婦や子ども、友人などと訪れる人が多く、参拝や散歩を主目的にしている人が多い。

諏訪公園・諏訪神社にあつたらいいなと思うものは、お祭りやフリーマーケットが多く、次いで、朝市や花やみどりが楽しめる花壇など、憩いの場としての機能と催事場としての機能の両面を望んでいる声が多い。

### (3) 高校生調査

#### 諏訪栄地域の利用について

##### 1) 諏訪栄地域の来街者

・学校帰りの寄り道感覚での来街が多く、レジャー（ゲーム・カラオケなど）の目的の人が多い。

来街者は、ゲーム・アミューズメントや買い物、飲食・喫茶を主目的に、学校の友人と平日や土曜日の昼過ぎから夕方にかけて訪れる人が多い。

利用する主な理由は、他の用事についてや家や学校から近いからが多く、喫茶・飲食目的や、薬・化粧品の購入のために利用している人が多い。

##### 2) 諏訪栄地域の非来街者

・“魅力的な店の誘致”による高校生の取り込み。

非来街者は、諏訪栄地域で買い物をしない理由について、第一位に家や学校から遠いから、第二位に魅力的な店がないからをあげている。市民調査と傾向としては似ている。

##### 3) 諏訪公園・諏訪神社について

・清潔感のある公園・神社を望んでいる。

・催事場の機能を持った場所として活用。

諏訪公園・諏訪神社の現状に対して必要性の高い項目としては、きれいさや安全性などの要望が多い。

諏訪公園・諏訪神社にあつたらいいなと思うものは、音楽などの文化イベント、お祭り、フリーマーケットなど、催事場としての機能を望んでいる声が多い。

## 普段の買い物について

- ・ 店選びは近さを一番重視
- ・ 衣料品やアクセサリーなどの品目は、こだわりの店選びをしている。
- ・ 品揃えが豊富できれいで個性的な店を選んでいる人が多い。
- ・ 安くて品揃えの豊富な店を望んでいる人が多い。

諏訪栄地域に限らず、どこで普段買い物するかを聞いたところ、基本的に四日市市外が、どの品目でも多く、次いで諏訪栄地域を除く市内が多くなっている。最もよく利用する買い物先を選ぶ理由は、全体的には“近さ”と“価格の安さ”、“買い物が一度で済むから”、“チラシでの情報入手が可能”など多岐に渡った理由をあげている。

理想とするお店はどんな店か聞いたところ、価格の安い店、おいしい飲食店や快適なカフェが多い。また、具体的な店やイメージを聞いたところ、安くて品揃えの多い店といった意見が多くあげられている。